

令和7年度

介護支援専門員 専門研修課程 I

カリキュラム

長野県

長野県介護支援専門員研修懇話会
長野県介護支援専門員研修企画懇話会

「介護支援専門員資質向上事業」
(介護支援専門員研修 実施要綱 長野県版)

令和7年度 介護支援専門員 専門研修課程Ⅰ カリキュラム	長野県
科目番号・科目名	ページ番号
科目1 ケアマネジメントにおける実践の振り返り及び課題の設定	2
科目2 介護保険制度及び地域包括ケアシステムの現状	2
科目3 対人個別援助技術（ソーシャルケースワーク）及び地域援助技術（コミュニティソーシャルワーク）	2
科目4 ケアマネジメントの実践における倫理	3
科目5 生活の継続を支えるための医療との連携及び多職種協働の実践	3
科目6 リハビリテーション及び福祉用具等の活用に関する理解	3
○ケアマネジメントの演習 ※いずれかの科目においてリハビリテーション及び福祉用具それぞれの活用に関する事例を用いた演習を行うこと	
科目7 生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント	4
科目8 脳血管疾患のある方のケアマネジメント	4
科目9 認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント	4
科目10 大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント	5
科目11 心疾患のある方のケアマネジメント	5
科目12 誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント	5
科目13 看取り等における看護サービスの活用に関する事例	6
科目14 家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント	6
科目15 個人での学習及び介護支援専門員相互間の学習	7
科目16 研修全体を振り返っての意見交換、講評及びネットワーク作り	7
集合研修 演習カリキュラム	8

科目1	ケアマネジメントにおける実践の振り返り及び課題の設定	講義・演習 8時間	オンライン研修 集合研修
------------	-----------------------------------	----------------------	-------------------------

目的

介護支援専門員としての実践の振り返りを通じて、ケアマネジメントプロセスを再確認し、専門職としての自らの課題を理解する。
また、ケアマネジメントプロセスに関する最新の知見を確認し、実践のあり方の見直しを行う。

内容

- ・実務研修を終えてからの実践の振り返り
- ・ケアマネジメントプロセスの重要性の確認
- ・ケアマネジメントを取り巻く環境等の確認
- ・事例検討の意義と方法の理解
- ・担当事例による事例検討の実施
- ・事例検討結果を踏まえた学習課題の設定

科目2	介護保険制度及び地域包括ケアシステムの現状	講義・演習 8時間	オンライン研修 集合研修
------------	------------------------------	----------------------	-------------------------

目的

介護保険制度の最新の動向、地域包括ケアシステムの構築や地域共生社会の実現に向けた現状の取組を理解した上で、今後の地域包括ケアシステムの展開における介護支援専門員としての関わりを理解する。

また、地域包括ケアシステムの中で、利用者及びその家族を支援していくに当たって、関連する制度等を理解する。

内容

- ・介護保険制度の現状や今後の介護保険制度を取り巻く状況の確認
- ・介護支援専門員が果たすべき役割の理解
- ・利用者のニーズに合わせた社会資源の理解

科目3	対人個別援助技術（ソーシャルケースワーク）及び地域援助技術（コミュニティソーシャルワーク）	講義 3時間	オンライン研修
------------	--	-------------------	----------------

目的

対人個別援助（ソーシャルケースワーク）と地域援助技術（コミュニティソーシャルワーク）の違いと役割を理解する。

内容

- ・対人個別援助技術（ソーシャルケースワーク）に関する考え方と展開技法の理解
- ・地域援助技術（コミュニティソーシャルワーク）に関する考え方と展開技法の理解
- ・地域ケア会議の意義と介護支援専門員の役割の理解
- ・多職種連携とネットワークづくりの理解

科目4	ケアマネジメントの実践における倫理	講義 3時間	オンライン研修
目的			
ケアマネジメントを実践する上で感じた倫理的な課題や、認知症や終末期、身寄りのない高齢者など、意思決定支援の必要性を踏まえ、チームで対応していく際のチームアプローチの方法及び高齢者の権利を擁護する上で必要な制度等を理解する。			
内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・介護支援専門員の基本姿勢の再確認 ・高齢者の権利を擁護する上で必要な制度等の動向の理解 ・実践の振り返り 			

科目5	生活の継続を支えるための医療との連携及び多職種協働の実践	講義 4時間	オンライン研修
目的			
実践を通じて感じた医療との連携や多職種協働に関する課題を踏まえ、今後の実践に向けて必要な知識・技術を理解する。			
内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・多職種協働を進めるための医療連携や多職種協働に関する課題の理解 ・医療連携において医療機関や多職種に対して情報収集及び情報提供する際の留意点の理解 ・在宅医療・介護の連携推進に関する動向の理解 			

科目6	リハビリテーション及び福祉用具等の活用に関する理解	講義 2時間	オンライン研修
目的			
リハビリテーションや福祉用具等に関する基礎知識及び活用に当たっての基本的な視点を理解する。			
内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリテーションの理解 ・福祉用具活用と住宅改修の理解 ・リハビリテーションの実際の理解 			

科目7	ケアマネジメントの演習 生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント	講義・演習 4時間	オンライン研修 集合研修
目的			
高齢者の生理、心理、生活環境などの構造的な理解を踏まえたケアマネジメント手法を修得する。			
内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の生理、心理、生活環境などの構造的な理解の確認 ・ 適切なケアマネジメント手法の理解 ・ 「基本ケア」の理解 ・ 疾患別ケアマネジメントにおける介護支援専門員の役割 ・ 家族等に対する支援についての再確認 			

科目8	ケアマネジメントの演習 脳血管疾患のある方のケアマネジメント	講義・演習 3時間	オンライン研修 集合研修
目的			
脳血管疾患の特徴を理解するとともに、望む生活を継続するためのケアマネジメントにおける留意点を踏まえたケアマネジメント手法を修得する。			
内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 疾患の理解の確認 ・ 脳血管疾患のある方のケアマネジメント ・ 「脳血管疾患のある方のケア」において想定される支援内容とその必要性等の理解 ・ 多職種協働（チームアプローチ）による対応 			

科目9	ケアマネジメントの演習 認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント	講義・演習 4時間	オンライン研修 集合研修
目的			
認知症の特徴を理解するとともに、望む生活を継続するためのケアマネジメントにおける留意点を踏まえたケアマネジメント手法を修得する。			
内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 疾患の理解の確認 ・ 認知症に関わる制度・政策動向の理解 ・ 認知症のある方のケアマネジメント ・ 「認知症のある方のケア」において想定される支援内容とその必要性の理解 ・ 多職種協働（チームアプローチ）による対応 			

科目10	ケアマネジメントの演習 大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント	講義・演習 3時間	オンライン研修 集合研修
目的			
大腿骨頸部骨折の特徴を理解するとともに、望む生活を継続するためのケアマネジメントにおける留意点を踏まえたケアマネジメント手法を修得する。			
内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・疾患の理解の確認 ・大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント ・「大腿骨頸部骨折のある方のケア」において想定される支援内容とその必要性の理解 ・多職種協働（チームアプローチ）による対応 			

科目11	ケアマネジメントの演習 心疾患のある方のケアマネジメント	講義・演習 4時間	オンライン研修 集合研修
目的			
心不全につながる心疾患の特徴を理解するとともに、望む生活を継続するためのケアマネジメントにおける留意点を踏まえたケアマネジメント手法を修得する。			
内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・疾患の理解の確認 ・心疾患のある方のケアマネジメント ・「心疾患のある方のケア」において想定される支援内容とその必要性の理解 ・多職種協働（チームアプローチ）による対応 			

科目12	ケアマネジメントの演習 誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント	講義・演習 3時間	オンライン研修 集合研修
目的			
誤嚥性肺炎の特徴を理解するとともに、望む生活を継続するためのケアマネジメントにおける留意点を踏まえたケアマネジメント手法を修得する。			
内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・疾患の理解の確認 ・誤嚥性肺炎の予防のためのケアマネジメント ・「誤嚥性肺炎の予防のためのケア」において想定される支援内容とその必要性等の理解 			

科目13	ケアマネジメントの演習 看取り等における看護サービスの活用に関する事例	講義・演習 3時間	オンライン研修 集合研修
目的			
看護サービスの活用が必要な事例を用いて講義・演習を行うことにより、看護サービスの活用に係る知識及びケアマネジメント手法を修得する。			
内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護サービスの基礎知識の理解 ・看取り等に活用する地域の社会資源の理解 ・看取り等における対応の基礎知識の理解 ・看取り等における利用者の気持ちの変化に応じたケアマネジメントの理解 			

科目14	ケアマネジメントの演習 家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント	講義・演習 4時間	オンライン研修 集合研修
目的			
家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例の特徴、関連する施策の内容や動向、対応する際の留意点等を踏まえたケアマネジメント手法を修得する。			
内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・家族等に対する支援の必要性や支援における介護支援専門員の役割や留意事項の理解 ・社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例を学ぶ必要性の理解 ・他法他制度の活用が必要な事例の特徴、対応する際の留意点の理解 ・難病のケアマネジメントの理解 ・難病のケアマネジメントの過程の理解 ・高齢者虐待に関する基本的な考え方や動向の理解 ・障害者支援に関する基本的な考え方や動向の理解 			

科目15	個人での学習及び介護支援専門員相互間の学習	講義 3時間	オンライン研修
目的			
指導・支援、コーチング、スーパービジョン等の違いを踏まえ、自らがそれらを受ける際の心構えや、法定研修終了後も法定外研修やOJT等を通じて、専門職として不断に自己研鑽を行うことの重要性を理解する。			
内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたる自己研鑽の必要性の理解 ・個人学習と相互学習の必要性の理解 ・OJTの必要性・重要性や実践における留意点の理解 ・スーパービジョンとコーチングの基本的な考え方や実践における留意点の理解 ・地域における学びの場や機会の紹介 ・生涯学習体系の理解 			

科目16	研修全体を振り返っての意見交換、講評及びネットワーク作り	講義・演習 2時間	オンライン研修 集合研修
目的			
研修全体を通じた振り返りを行うことで、今後の学習課題を認識し、自己研鑽の意欲を高める。 また、研修受講者間でのネットワークの構築を図る。			
内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・研修全体の振り返り ・研修の学習効果を踏まえた今後の学習目標の設定 ・ネットワークづくり 			

演習カリキュラム 長野県版

○ケアマネジメントの演習

※いずれかの科目においてリハビリテーション及び福祉用具それぞれの活用に関する事例を用いた演習を行うこと

生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント

脳血管疾患のある方のケアマネジメント

認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント

大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント

心疾患のある方のケアマネジメント

誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント

看取り等における看護サービスの活用に関する事例

家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関

との連携が必要な事例のケアマネジメント

研修全体を振り返っての意見交換、講評及びネットワーク作り

2日間

9：30

～

17：00

集合研修

習得目標

事例を通して、自分自身のケアマネジメント実践を省察し、自らの課題の明確化、研鑽の重要性がわかる。

習得内容

○ケアマネジメントプロセスを再確認し、自らの課題に気付き見直すことができる。

○「適切なケアマネジメント手法」の理解ができる。

○家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携ができる。

○制度の動向を踏まえ、地域共生社会を理解しケアマネジメントを実践できる。

○自らの課題を認識し、自己研鑽のためのネットワークを構築できる。

